

8月1日開幕の弘前ねぶたまつりに向けて、弘前大学の学生団体「弘前大学ねぶたVisitors」がウェブアプリ「ねぶた図鑑」を開発した。各ねぶた団体の情報や魅力を紹介するほか、受賞結果をリアルタイムで発信する予定。団体代表を務める理工学部電子情報工学科4年の高橋那日斗さん(21)は「ねぶたの押し活のよるなニーズに応えられ

## ねぶたの、押し活、を

るアプリにしたい」と話し、開幕までに運用開始を目指す。

祭の主催団体や関係機関、参加団体が一堂に会する全体会議が今

### 弘大生がアプリ開発

#### 各団体情報や魅力紹介

月25日、弘前市立観光館で開かれ、高橋さん

らが報告し、協力を呼び掛けた。

ねぶた図鑑は無料で利用できる、鏡絵と見送

り絵、絵師、出陣日、団体情報などを掲載する予定。日本語のほか、韓国語や中国語な

ど計7カ国語に対応し、お気に入り登録も

学研究科と同市の合同会社ミームテックが協力して祭り会期に運用する。同社は「今年もより多くのねぶた団体のほか、市民や観光客に役立ててほしい」としている。

今夏の合同運行には同日現在、昨年より2団体多い69団体(大太鼓含む)が出陣する見

通し。会議では運行に関する注意事項などを共有した。

置情報システムを、今年も弘前大大学院理工

(石田紅子)